

一般社団法人日本映像民俗学の会第 41 回二風谷大会特集テーマ アイヌと北方文化上映作品要旨

公益財団法人アイヌ民族文化財団 平成 28 年度アイヌ文化伝承活動アーカブス

「技」Vol.1 より 貝澤雪子 アットウシ織り 2018 年 20 分

制作協力：札幌映像プロダクション 企画・製作・著作：公益財団法人アイヌ民族文化財団

演出：高橋晴雄 撮影：寒川江透 技術：鍛冶慎一 照明：大石義勝 編集：福井あゆみ ナレーター：
山口由美

この作品は公益財団法人アイヌ民族文化財団の企画した新シリーズで、DVD での貸出とともに、公益財団法人アイヌ民族文化財団から YouTube で公開されている。

<https://www.youtube.com/watch?v=gMHA1q1czBw>

また平取町の公式サイト http://nibutani.jp/artisan/y_kaizawa.html

によれば**貝澤雪子**さんは

アットウシ織りを半世紀以上にわたり手がけている。オヒョウの皮で作るアットウシを、キハダの樹皮やアカネ、クルミなど身近な花と草木で染める。染色すると糸がごわつき、織りづらいが「難しい方がやりがいがある」と挑み続けている。淡い色合いの糸で作るしま模様の帯やバッグ、財布などが美しく、全国から注文が舞い込む。1 日 12 時間以上、仕事することもあるが「織るのが好きなので苦痛に感じない」。織れば織るほど、より良いものを作りたくなり、「死ぬまで勉強」が口グセだ。2011 年には、北海道アイヌ協会より「優秀工芸師」としても認定されており、受賞歴も多数。アイヌ文化の伝承・保存、後継者の育成に尽力的に取り組んでいる。

札幌映像プロダクション

同社ウェブサイトから <http://www.apro-g.co.jp/aynu/outline.html>

「貴重なアイヌ文化の記録を未来へ」

当社は、1975 年に「アイヌの伝統文化を記録に留め、文化の伝承を支える映像資料として後世に残す」ことを主な目的に創設されました。

以来、この主旨に沿い、多くの伝承事項を記録に留め、制作したコンテンツの数は 100 タイトル以上に及びます。

今後は、これまで蓄積してきた貴重な映像が「アイヌの精神・文化を未来に伝え・育て合う環境の整備」に向け有効に活用されるよう、主体的な取り組みを進めるとともに、「異なる民族が互いに尊重し共生する社会」の創出に寄与すべく尽力して参ります。

公益財団法人アイヌ民族文化財団の東京での情報提供 中央区八重洲口にアイヌ文化交流センター

https://www.frpac.or.jp/web/overview/cultural_exchange/index.html があります。